

## ～新型コロナウイルス（COVID-19）感染症対策～ インフルエンザとの同時流行に備え

海老名メディカルプラザ（所在地：神奈川県海老名市、院長：渡邊 茂樹）では、2020年冬にダブル流行が予測されるインフルエンザと新型コロナウイルス（COVID-19）の感染防止に備えるため、独自の新しい対策を開始いたしました。

医療機関では院内感染防止の観点から、3密の回避およびソーシャルディスタンスの確保が求められていますが、スペースに限りがある待合室では距離の確保が難しく、今後さらにインフルエンザを含む発熱の患者様が增多することが予想されると、感染リスクの回避が喫緊の課題とされていました。

この対応策として、海老名メディカルプラザでは、発熱外来の待合室としてトレーラーハウスデベロップメント社製の「トレーラーハウス」を新たに導入。院内の待合スペースが混雑した場合、このトレーラーハウスでも6名～10名程度の発熱患者様がお待ちいただける新たなスペースを確保いたしました。

また、同様に院内混雑の回避を目的に、このトレーラーハウスの他、お車で来られた患者様に向け自家用車内でもお待ちいただけるよう、携帯電話網を利用した呼出システム「Ready Call」を神奈川県で初めて導入いたしました。呼び出しベルについては、従来の微弱電波を使用したものやまた最近では特定小電力機器という呼出しシステムも存在します。ただしそれでは広い駐車場の端まで安定的に電波を届ける事は非常に困難でしたが、「Ready Call」の導入によりこの電波受信への課題も改善され、院内や院外（トレーラーハウスや自家用車内）などの施設周辺に限らず、患者様自身にてよりご安心頂ける場所で待ち時間を過ごす事が可能となります。



これからも患者様が安心して受診していただけるよう、受診環境の安全確保と、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めてまいります。

### 「Ready Call（セイコーソリューションズ株式会社）」とは？

セイコーソリューションズ株式会社が提供するクラウド型呼出サービスで、呼出端末との通信には携帯電話回線を利用しているため、患者様は携帯電話が繋がるところであれば、自由な場所で待つことができ、呼出端末には個々にQRコードが設定されているため、診察券と紐付けをすることで呼び出し間違いを防止できます。

### 【海老名メディカルプラザについて】

2005年に開院した43の診察室を持つ高機能型クリニックで、向かいに建つ海老名総合病院の外来機能を担っています。 URL：<http://plaza.jinai.jp/>

### 【問い合わせ先】

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 業務部 総務管理課 広報担当  
(TEL) 046-235-0765 (FAX) 046-234-8651 (Mail) [jma\\_pr@jin-ai.or.jp](mailto:jma_pr@jin-ai.or.jp) (URL) <https://jma.gr.jp/>